

## 尿路上皮癌の分子マーカーの探索に関する研究

### 1. 研究の対象

2009年1月以降に当院を受診した20歳以上の尿路上皮癌を有しない泌尿器科患者、または当院で膀胱癌、腎盂尿管癌で診断治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

大阪大学医学部泌尿器科では、尿路上皮がんの克服のために尿路上皮がんの新しい診断や治療の開発を目指した基礎研究を行っています。将来このような研究の成果は、癌の予防、早期発見、より効果的な治療方法の選択、遺伝子治療等の開発につながるものと期待されます。そこで、尿路上皮癌と診断された患者さんを対象に、今回国内外の多施設と共同で、尿路上皮がん早期発見、腫瘍深達度診断、治療効果判定、革新的治療法を目指した研究のために、手術によって得られたがんや正常組織、血液、尿を始めとする体液検体から、DNA, RNAなどの核酸やタンパクを抽出し、microRNAやmRNA(DNAから写し取られた遺伝情報、mRNAはタンパク合成に用いられる)や遺伝子変異、タンパクの網羅的解析の結果より診断、治療に応用できる新たなマーカーを同定することを目的とし研究を行っています。研究機関は2019年7月1日より2026年12月31日までの予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、生年月日、病理検体番号、治療歴、カルテ番号

試料：血液、尿、手術で摘出した組織

### 4. 外部への試料・情報の提供

阪大学微生物研究所、University of Alabama, Rochester University、近畿大学、ウィーン医科大学にあなたの試料・情報を提供します。その際には、あなたを特定できる情報は記載しません。取りまとめられた情報を医学雑誌などに発表する場合も、個人が特定できないように配慮されます。すなわち、あなたのプライバシーに関することは第三者に漏れないよう充分配慮されています。試料は郵送で行い、情報電子的に配信します。

### 5. 研究組織

共同研究機関

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科 野々村祝夫、藤田和利、波多野浩士

アラバマ大学・Geroge Netto

ロチェスター大学・宮本浩

大阪府立急性期総合医療センター 高尾徹也

大阪警察病院 高田晋吾

大阪大学微生物研究所 中村昇太

近畿大学 植村天受

ウィーン医科大学 Benjamin PRADERE

大阪医科大学・泌尿器科 稲元輝生

**既存試料・情報の提供のみを行う機関**

大阪医科大学・泌尿器科 稲元輝生

**6. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘2-2

06-6879-3531

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科 藤田和利

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科 野々村祝夫

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科 野々村祝夫